

## フィリピン&アメリカキャンプ



毎週行くマニラ・ノース・セメタリーという墓地のメトロの教会学校で見かける一人の少女、デイニーのことで、いつも私の心がつかなくなっていました。彼女は3人きょうだいの長女で、まだ7歳でしたが、両親共に毎日仕事に出ている間、3歳と5歳の幼い弟たちの面倒を見ていました。隣の墓に祖父母が住んでいるものの、結局は毎日自活しなければならない状況です。食べるものもほとんどなく、まともな服も着られず、お風呂に入ることもない日が続いていました。長女のデイニーは懸命に弟たちの世話をしていましたが、「大人」でいなければならない重圧に耐えられないこともしばしばでした。毎週、墓地を訪れるたびに、彼らが私の方へ駆け寄ってきて、帰る時間になると泣きじゃくる姿に心が張り裂けそうでした。

ある日、私の担当のこのエリアの子どもたちのために、キャンプの支援金がもらえるという連絡を受けました。すぐにデイニーのことが頭に浮かびました。彼女は、ちょうど参加できる年齢で、せめて一日だけでも「子ども」として過ごしてほしかったのです。ただ遊ぶだけの時間を過ごし、食事の心配をすることもなく、弟たちの面倒を見なければならない責任から解放される時間を過ごさせてあげたかったのです。両親を説得して、ようやく申し込むことができました。

キャンプ当日、私は今まで見たことがないほど輝いている彼

女の姿を目にしました。満面の笑みを浮かべ、最高のおしゃれをして私の手にしっかりとしがみついていた。でも、バウンズハウス(空気で膨らませたビニールの遊具)を見つけた瞬間、手を離して友だちのもとへ駆け寄り行きました。そして、その日はずっと、心ゆくまで遊び、お腹いっぱいになるまで食べることができました。

それ以来、デイニーは今でもキャンプのことを思い出しては話し続け、「また行ける!」と確信しています。それはスポンサー次第だと伝えても、行けると信じているのです。

—フィリピンスタッフより

これはほんの一例ですが、支援している国では、フィリピンでもアメリカでも同じような状況です。子どもたちはキャンプに参加することを心待ちにしています。そこでは、私たちの想像を超える厳しい日常から解放された最高の時間を持つことができるだけでなく、メトロのスタッフが十分に準備した楽しいキャンプの活動と聖書の御言葉、個人カウンセリングや祈りによって子どもたちを励まし、導きます。

皆様にできる範囲で結構ですので、子どもたちをキャンプに送ることができるようにご協力いただければ感謝です。

**フィリピンキャンプ：5月4日(日) 締切**

**アメリカキャンプ：5月25日(日) 締切**



**常時スポンサー募集中!**

お申込はこちらから⇒

<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>



**今月の引き落とし日!**

4月28日(月)です。前日に残高をご確認ください!

**今月号の目次**

P2…ビル師からのメッセージ

P3…インターンシップのご案内/スポンサーのご案内

P4…日本事務所から大切なお知らせ

# メトロが、スラムで実際に行っていることは、何なのか？

これが、子どもたちの人生が変わる本当の理由です。

子どもたちをどのように指導し、教育すれば、ゴミ捨て場や墓地に住む13、14歳の子どもたちがメトロ・フィリピンの日曜学校の先生になることができるのですか？

これは、3月に開催した現地視察に世界中から参加した25人の牧師、指導者、スポンサーとともにマニラのメトロ教会学校を訪問した際に、何度も何度も私が尋ねられた質問です。答えは非常に簡単明瞭です。メトロ・ワールド・チャイルドの一貫した活動を通して、神の変革の力がもたらされるからです。

メトロ・ワールド・チャイルドは、フィリピンで25年間活動を続けてきましたが、この視察で私が目にした事実は、いつものように私の心を痛めました。

アレックス(仮名)という若者の話をしましょう。彼の話は、私たちが子どもたちの人生に投資すると神様が何をなさるかを示すことのできる最高の事例です。

アレックスはマニラでも最も治安の悪い地域で育ちました。彼の両親は筋金入りの麻薬中毒者で売人でした。それで、アレックスは幼少期のほとんどを刑務所で過ごしたのです。両親は、アレックスに女装をさせ、路上で麻薬を売らせていました。それで、学校ではいじめられ、仲間からのけ者にされ、深い絶望に陥っていました。彼はひどく傷つき、幼くして自殺を考えたのです。

しかし、神様はアレックスのために計画を持っておられました。神様は、常に御計画をお持ちなのです。

6歳の時、アレックスはメトロの教会学校に通い始めました。ここで彼は希望を見つけました。彼は神様の目に映る自分の真実の姿を知り、その真実が彼を解放したのです。

アレックスは両親に反抗し、「もう、女装するのはいやだ」と言いました。彼は、神様が彼を男の子として創造したことを知り、自分は男の子として生きたいと思ったからです！

しかし、物語はそこで終わりません。メトロを通じて、アレックスはダニエルさんというスポンサーから支援を受けられるようになり、学校教育を続けることができました。アレックスは今、19歳で大学に通っているだけでなく、若い教会学校の教師のチームを率いて、毎週500人以上の子どもたちに神の御言葉を語っています。そこに集う子どもたちの多くが、アレックスがかつて麻薬を売っていたスラムから来ています。

麻薬の売人から神の御言葉を伝える者へ。これがメトロ・ワールド・チャイルドの教会学校の力です。メトロが世界最大の教会学校となり、毎週100万人以上の子どもたちに手を差し伸べているのは、実際にこのようなことが起こり得るからです。

この子どもたちは、愛情ある家庭から来ているわけではなく、十分な食事も与えられていない子どももたくさんいま

すが、私たちが毎週家庭訪問し、一緒に過ごす時間を通して、子どもたちは、イエス様が唯一の希望であることを一貫して繰り返し学んでいます。

イエス様こそが、犯罪、麻薬、絶望の連鎖を断ち切るための唯一の方法なのです。そして今、この若い教師たちは、自らが直接体験した真実を語り、揺るぎない情熱と信念をもってそれを実践しています。

これは、この子どもたちが手にできる可能性のある将来の姿ですが、皆さんのような支援者なしではこれを実現できないことを皆さんはご存知でしょう。これまで何年も私が繰り返し語ってきたことを皆さんは覚えていらっしゃると思いますが、この子どもたちは、皆さんの助け、皆さんの祈り、そして皆さんの行動を必要としているのです。



裏通りの視察に同行してくれた護衛警察官と

その夜、私たちが教会学校の子どもたちが住む、すさんだ危険な裏通りの視察に出かけた時、マニラの警察官が私たちを護衛するために同行してくれました。そこは、特に夜は非常に危険な地域ですが、それがこの子どもたちの日常生活の場です。彼らには他に行き場はありません。

訪問者たちは、この子どもたちの変化を自らの目で見たのです。この物語を通して、皆さんもそれを見ることができるようにと願っています…主が皆さんの目を開いてこの物語を見て私たちと思いを共有してくださるよう、というのが、皆さん全員に対する私の祈りです…

ビル・ウィルソン

[メトロ紹介ページ](#)



# メトロのインターンシップ制度のご紹介

メトロのNY本部でのインターンシップは、信じられないほどあなたを後押しし、引き上げ、成長させるように設計された4か月間の集中的な宣教トレーニング・プログラムです。

費用は無料！そして何よりも、神への情熱が高まり、路上で人々に働きかけるようになります。

変化をもたらすものを探していて、この研修に前向きな方は、メトロのWebサイトにアクセスして詳細をご確認ください。

[www.metroworldchild.org/internship](http://www.metroworldchild.org/internship)

トレーニングや活動はすべて英語で行われますので、ご自身で申し込み手続きができる程度の英語力が必要です。また、NYで活動できるほど英語力に自信がない場合は、フィリピンでの研修もあります。こちらも手続きや研修は英語ですが、教会学校では、英語と現地の簡単なタガログ語が使われます。

[www.metroworldchild.org/internship/philippines](http://www.metroworldchild.org/internship/philippines)



## 必要を満たすことは

あなたの支援が子どもたちを心身共に強め励ましています。

「貧しい者が国のうちから絶えることはないであろうから、私はあなたに命じて言う。『国のうちにいるあなたの兄弟の悩んでいる者と貧しい者に、必ずあなたの手を開かなければならない。』」 - 申命記 15:11

思いやりは単なる感情ではありません。それはご命令です。人々の必要に気づくだけではありません。それに応えることです。

あなたには、人生に変化をもたらす力があります！ 優しい言葉、助けの手、寛大さを現わすタイミング、そのすべてが重要です。私たちの周りの人々に希望をもたらす光になりましょう。今日は誰を祝福できますか？

スポンサー募集中



## 日本事務所からの重要なお知らせとお願い

注意!

### 偽サイトにご注意を!

ビル師の偽のSNSがたくさん発生しています。騙されて献金を送金されないように、くれぐれもご注意ください。

ビル先生の Facebook は以下の一つだけです。

<https://www.facebook.com/PastorBillWilson>

ビル先生が、直接献金を依頼することはありません。メッセージやその他の方法で、個人的に連絡することや友達申請することはありません。友達リクエストを受け取った場合は、その偽アカウントを Facebook に報告し、ブロックしてください。

メトロの働きやビル先生へのご支援は、必ず日本事務所を通してお送りください。

### ！ スポンサー募集中!

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願ひいたします。

政治不安や戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、世界中の物価は急激に上昇しています。メトロの活動している地域では、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。私たちは、一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと手を尽くしています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



### 現在開催中のキャンペーン!

現在行っているキャンペーンは、フィリピンとアメリカのサマーキャンプです。食料品その他のご支援は常時受け付けています。

- ・フィリピンのキャンプ: 5月4日(日)締切
- ・アメリカのキャンプ: 5月25日(日)締切

また、ご支援いただいています子どもの誕生日の前月には、お知らせの手紙を同封しますので、必ず開封して中をご確認ください。ご自身の状況に合わせてプレゼントをお考えいただければ幸いです。子どもの数は非常に多いので、早めにお申し込みいただければ助かります。

口座引落手続きをされている方は、翌月のお引き落としに加算することもできます。

お引落日は、お申し込み日の翌月です。

<https://metroworldchild.jp/gift/>



### 日本事務所よりごあいさつ!

春らしい季節を迎え、皆様の新年度の生活が豊かに祝福されますように祈っています。

メトロは現在、世界24か国以上、30以上の地域で教会学校の働きを進めています。昨年には、毎週100万人の子どもたちが参加するようになり、今年度は、さらに急激な拡大が予想されていますので、今年の2月にメトロスタッフは、活動する各国のために21日間の断食祈禱を開催しました。

地域と各国からの要求に応えられるように各地でのスタッフ研修を開催し、育成を進めています。5人のチームで学校を回り、1週間に1万の子どもたちに福音を伝えているチームもあります。これからもチームを急ピッチで増やしていかなければなりませんので、スタッフの育成と必要な機材が満たされるようにお祈りください。

皆様の上にも、主キリストの圧倒的な勝利の御業が現されますようにお祈りします。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



## メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6  
橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン